



「自立支援ステーション『DEKITA』」の田島瞬さんにお話をお聞きしました



「自立支援ステーション『DEKITA』」は2016年11月に埼玉県から指定を受け吉川駅前にオープンしました。社会福祉法人でもなく、NPO 法人でもない民間企業ならではの、これまでの業界慣習や常識にとらわれないピアレスな福祉サービスをスピーディー&タイムリーに提供する、あらゆる既成概念の打破に挑戦するという目的にしている施設です。

まず、DEKITA では学校や家への送迎がありません。通所する子どもたちは、自力で、もしくは家族に連れられ、駅前のビル4階へやってきます。公共機関を使うことの大切さや、バスなど時間通りにいかないことへの対応力なども付けたいという信念の元の方針です。

放課後等デイサービスには①保育型、②療育型、③医療型、④音楽や運動など特化した指導型がありますが、DEKITA は療育型になります。集団での学習が中心です。集団に入ることが困難な子ども達には時間外での個別の指導もありますが、あくまで目標は集団指導に参加することにあります。

日々の目標もしっかりとプログラムされていて、各月の週間テーマも作られています。

16時半から18時の間に40分授業が10分休憩をはさんで2コマ。1授業の中に10分程度の短いプログラムが4、5個組み込まれています。子どもたちは机だったり、マットのひき詰められた広場でなど、プログラムに応じて学ぶ場所も変わります。先生の指示を受けながら文字を書いたり、身体を使ったり動きます。授業の中身は勉強というよりは生活に必要なスキルを教えていて、子供たちの将来の自立に向けて取り組んでいます。

現在は登録者が19人ですが、多くても個別含め10人、少ない時は2人位の時もありますが、1日に最大15名まで受け入れることができます。月に1回程度土曜日にイベントの日を設けていて、その日は親同士のつながりの場ともなれるように、家族やお友達の参加もできるようにしています。食育としてサンドウィッチを作ったり、避難訓練をしたり、様々な企画を考えています。DEKITA は他のエリアにも10カ所あるので、人手が必要な時など、連携をしながらできるところも強みです。

10時から19時の開所で現在3名のスタッフがいます。子供達が学校に行っている時間は事務仕事や、教材研究などを行うが、様々な事情で学校に行けない子をその時間に受け入れたりしています。誰でも通えるわけではなく、利用の際はお住まいの市区町村から発行される通所受給者証が必要です。



5月週間テーマ	
(1週目)	工作 ※様々な物を切り取り自由を思い切り切り出す練習を行います。
(2週目)	感覚統合 ※バランス感覚や力加減についてを行います。
(3週目)	生活機能訓練 ※交通ルールについてを行います。
(4週目)	SST (ソーシャルスキルトレーニング) ※他者への配慮など状況理解の方法についてを行います。
(5週目)	言葉のトレーニング ※発表する力や聞き取りトレーニングを行います。
6月週間テーマ	
(1週目)	言葉のトレーニング ※発表する力や聞き取りトレーニングを行います。
(2週目)	SST (ソーシャルスキルトレーニング) ※他者への配慮など状況理解の方法についてを行います。
(3週目)	ワーキングメモリー (短期記憶) ※2つ以上の指示を記憶し、実行する力についてを行います。
(4週目)	感覚統合 ※視覚運動・力加減についてを行います。
(5週目)	生活機能訓練 ※公共機関でのルールやマナーについてを行います。





DEKITA では発達障害や知的障害の子どもたちがメインの療育の場としています。発達障害の理解が地域ではまだまだ足りないということで、発達障害児をもつ親たちの会である「よしかわ市発達を支える会ビリーブ」と連携をして「発達障害って何？」というセミナーを開催したりしています。

<利用>

小学1年生から高校3年までの通所受給者証を持っているお子様を対象に16:30～18:00までが団体での授業時間。10:00～19:00が開所なので、夏休みやその他相談にも応じることは可能です。

利用可能な日数は通所受給者証で決定された日数の範囲内となります。

現在1回約800～900円の利用料金（負担月額上限額あり）

<感想>

発達障害や知的障害のお子様を持つお母様方にとっては、非常に強い味方のデイサービスだと思いました。学校さながらのプログラムには本当に福祉施設なの？と思ってしまうほどの驚きがありました。DEKITAの理念通り既成概念を見事覆しています。子どもたちが、「こんにちは」とドアを開けて入ってくるところといい、パッと見た目、学習塾かとも思わせる場の提供がされていました。

見学したときは、「ききとり・かきとり」の時間と「ルールを守って進もう！」の時間でした。「ききとり・かきとり」の時間は、先生が言った言葉を、聞き取って、ひらがなでノートに書きとります。どの子も椅子に座って、一生懸命書いていました。それが終わると、マットのスペースに移り、赤信号と青信号の区別を学び、それに合わせて前進、停止をします。10分間という短い時間がいいのでしょうか、どの子も先生の指示に従って活動を行っていました。障がいを持つ子どもたちのスキルを伸ばしてくれる場所だと実感しました。

発達障害の子たちの発達場としての充実したプログラムの一方で、肢体不自由や重度の子どもたちに対しては、その専門的知識がないため受け入れがないということで、重度のお子様たちの親御さんは非常に残念な思いでしょう。

まだ開所して7カ月、発達障害の子どもたちの為のより良い未来にむけての取組にこれからも多いに期待しています。

自立支援ステーション DEKITA!!

吉川ステーション

代表取締役社長 荻野 優

吉川市木売2-3-11 グリンヒルビル4F

TEL 048-984-3833

FAX 048-984-3834

